



守ろう! 通行ルール。 なくそう! 踏切事故。



踏切では、一時停止。

忘れないでください。あなたを守る大切なルール。

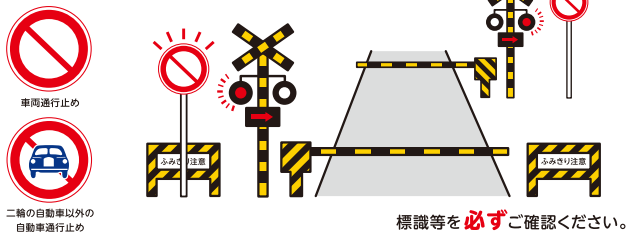
踏切の安全な通行方法

- 踏切の手前では必ず**一時停止**し、**右左の安全と前方**を確かめてから渡りましょう。
- 警報機が鳴っている時は絶対に踏切の中に入ってはいけません。
- 一方からの列車が通過しても、すぐ反対方向から別の列車が来る場合がありますから注意しましょう。
- 踏切で車が動けなくなったら非常ボタンを押すか、発煙筒などを使って列車に知らせてください。

詳しくは [JR東海 踏切事故防止](#) [検索](#)



自動車等が通行できない踏切もあります!



踏切事故防止推進協議会

もし踏切で閉じこめられてしまったら?

① 車が動ける場合

遮断かんは、車で押すと斜めに上がります。そのまま前進してください。



② 車が動けない場合

ためらわず、非常ボタンを押して列車に知らせてください。



非常ボタンがない踏切では、発煙筒や赤色灯(旗)などを振って列車に知らせてください。



突破型の踏切事故が70%を占めています。

JR東海の踏切で発生した過去5年間の踏切事故の分類

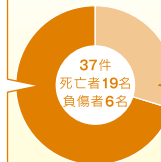
突破型 26件 (70%)

事故原因別

- 警報無視 — 21件
- 遮断機突破 — 0件
- 直前横断 — 5件
- 側面衝撃 — 0件

通行者別

- 歩行者 — 22件
- 自転車 — 1件
- 二輪車 — 0件
- 自動車 — 3件



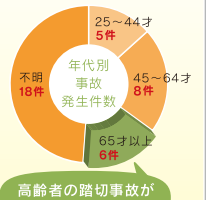
停滞型 11件 (30%)

事故原因別

- 停滞 — 11件

通行者別

- 歩行者 — 2件
- 自転車 — 1件
- 二輪車 — 3件
- 自動車 — 5件



踏切の無理な横断は、大きな事故につながりかねない大変危険な行為です。警報機が鳴り始めてからの踏切内への進入、踏切前方スペースを確認をしながら、前の自動車に続いて踏切内へ進入することは絶対におやめください。



● 非常ボタン使用のお願い

踏切内で異常が発生、もしくは危険な状況を見かけた場合には、まずは非常ボタンを押してください。



● 高さ注意のお願い(感電事故防止)

クレーン車などのブームを上げたまま踏切内に入ると感電します。また、落ちてきた電線にさわると感電する恐れがあるので絶対に近づかないでください。

